

育児休業取得状況等報告書

【企業担当者記載欄】

1 企業名	友宏ワイズ株式会社
2 貴社の取り組み状況について	<p>(1) 男性の育児休業促進に取り組むきっかけ・背景 わが社は、早くから女性の育児休業促進に取り組み取得率は100%である。父親も母親もどちらも「親」という観点から男性の育児休業取得へのメッセージを発信してきた。</p> <p>(2) 男性の育児休業取得促進にかかるこれまでの取組 2019年2月より行動計画を策定し、社内掲示やHP、社内回覧板で社員に周知してきた。 男性育休取得実績（2017年1名）（2020年3名）（2021年1名）（2022年1名）（2023年1名）</p> <p>(3) 取得促進にあたっての課題とその解決策、工夫した点 社員から社長や上司に相談しやすい雰囲気を作り、会社（社長）から男性育休についての情報発信をしてきた。取得者と周りの人との双方での配慮が課題である（コミュニケーション）</p> <p>(4) 取得者がいる職場の業務継続のために取り組んだこと 会社は人手不足にならないよう求人をつけ、取得者がいたことにより、周りの人に過度の負担がかからないように配慮してきた。日頃より多能工化に努め、休業者がいても業務に支障が無いようにしてきた。</p> <p>(5) 定着に向けて、更に取り組んでいることがあれば教えてください 社内での回覧板（育児日程など）やHPで、絶えず情報やメッセージを発信してきた。 病気や介護で休業する場合も含め社内でお互いに助け合う雰囲気作りをしている。</p>

【対象従業員記載欄】

1 育休取得期間	通算37日間（1人目16日間 2人目21日間）
2 育児休業の取得について	<p>(1) 育児休業を取得したきっかけ 1人目の時に男性の育児休業のことを知り、妻のサポートをするため。 2人目の時は長女のこと心配だったので色々なサポートをかねて取得。</p> <p>(2) 育児休業を取得して良かったこと 生まれたばかりの子供とたくさん触れ合えたこと、妻のサポートができたこと。</p> <p>(3) 育児休業の取得にあたり、円滑に業務を引き継ぐ点で工夫した点 自分の仕事をなるべく簡単にできるように改善しておく。</p> <p>(4) 育児休業の取得経験を通して業務に生かせること いつ、誰が休んでも大丈夫のように、多能工化を日頃から意識する。</p> <p>(5) これから育児休業の取得を検討している方へのアドバイス 普段からコミュニケーションを取り、お互いに助け合うこと。</p>